

2018年10月5日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 作本 直行

イラン国シャヒード・ラジャーイー発電所建設事業
(協力準備調査(有償))
ドラフトファイナルレポートに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2018年9月14日(金) 14:00~16:55
- ・場所：JICA 本部 (1階 111 会議室)
- ・ワーキンググループ委員：石田委員、作本委員、谷本委員、日比委員
(石田委員はメール審議にて参加)
- ・議題：イラン国シャヒード・ラジャーイー発電所建設事業(協力準備調査(有償))に係るドラフトファイナルレポートについての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) 【回答表】イラン国シャヒード・ラジャーイー発電所建設事業(協力準備調査(有償)) SC案
 - 2) イラン国シャヒード・ラジャーイー発電所建設事業助言対応表
 - 3) イラン国シャヒード・ラジャーイー発電所ドラフトファイナルレポート
 - 4) Draft Report of Environmental Impact Assessment (EIA) for the Shahid Rajaee Power Plant Construction Project
 - 5) 回答表及び別添資料
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第95回委員会)

- ・日時：2018年10月5日(月) 14:00~17:16
- ・場所：JICA 本部 (1階 113 会議室)

上記の会合にて助言を確定した。

助言

全体事項

1. 同敷地内の既設発電所では既に多くの点で、イラン国内の排出基準値を満たしてはいるが、先方政府から改善要請等があった場合には、リハビリ等に関する検討を行うこと。
2. 本事業でのガス燃焼による電力開発事業から生じる温室効果ガスの放出予測を行い、気候変動枠組み条約における INDC（自国が決定する貢献案）との関係性について、FR に詳細を記述すること。

環境配慮

3. 本事業による気候変動への影響については、温室効果ガスの排出量と排出削減効果を分けて、その評価を FR に記述すること。
4. 本事業で建設する発電設備における冬季の軽油使用に伴う NOx、SOx 等の排出について、FR に可能な対応策を記述すること。

ステークホルダー協議・情報公開

5. ステークホルダーでの協議内容に加えて、アンケート調査で得られた女性からの意見をも FR に記述すること。

以上